

■院内褥瘡対策委員会

1. 2017年度の目標及び方針

はじめに

本委員会は、超高齢化社会において問題となっている「褥瘡」の院内発生減少、早期治癒を目的に活動している。現在、日本においては全ての入院患者に対し褥瘡対策を実施する事が入院基本料の算定条件であり、国際的にも医療の質評価項目 (quality indicator) として褥瘡発生率が求められているなど、病院の質向上だけではなく財務においても重要な役割を持つ委員会である。

方針

褥瘡の予防と早期治療に向けた取り組みをおこなう。

入院基本料算定要件を満たすための活動をおこなう。

目標

1) 入院基本料算定要件を満たすための活動を実施する

入院基本料算定要件クリアに向けた記録・システムの整備と運営

2) 病院職員の褥瘡に対する知識向上に向けた勉強会を実施する

院内褥瘡対策セミナーの実施

3) II度以上の褥瘡推定発生率 2.5%未満

2. 2017年度評価

1) 入院基本料算定要件を満たすための活動

入院基本料算定要件に必要な記録の仕組み作り、各関連部署との調整、カルテテンプレートの新規作成を実施し、4月より新たな運用を開始した。その結果、10月の関東厚生局による医療監視をクリアする事ができた。

また、総務課からの依頼を受けて、年1回の定期的な院内褥瘡危険因子評価立案数、診療計画書立案数、ステージ毎の褥瘡発生数など褥瘡対策に係る報告(厚生労働省報告事項)をおこなった。

2) 病院職員の褥瘡に対する知識向上に向けた勉強会の実施

2017年2月 全職員を対象とした勉強会を企画、実施した。

3) 褥瘡推定発生率の調査

II度以上の褥瘡推定発生率: 2.19% (目標 2.5%未満)

※ADL維持向上等加算算定要件; II度以上の褥瘡推定発生率は 2.5%未満

4) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定に向けたシステム導入の検討およびシステム戦略室との話し合い

現在、スタッフが紙ベースでやりとりし多くの時間を要して対応している年間約2万件もの褥瘡データを当院の実情にあった褥瘡管理システム導入によりハイリスク加算が算定できるようなシステムへと改善できないか検討をおこなってきたが、年度末に来年度新カルテ導入となり それにあわせた運用への再検討中である。

3. 年間活動内容

1) 委員会開催

毎月第2月曜日 部長会終了後実施 12回実施

内容:各委員からの活動報告、褥瘡発生率のモニター、褥瘡患者カルテカンファレンスの実施

2) 褥瘡回診の実施

褥瘡回診による診療およびスタッフ指導

3) 病院職員への褥瘡知識の啓蒙活動

4) 入院基本料要件クリアに向けての活動

記録のフォローアップ;記録の指導、カウンターサイン、
問題事例への介入など

4. 実績

1) 委員会の開催:12回開催

カルテカンファレンスの実施と問題事例については病棟へのフィードバックをおこなった

2) 褥瘡回診実施状況: 7件(形成外科、薬剤師、栄養士、理学療法士、皮膚・排泄ケア認定看護師による)

3) 診療報酬入院基本料算定要件クリアに向けた活動

皮膚科、形成外科医師による褥瘡診療計画書(治療)のフォローアップ数:1,743件

皮膚・排泄ケア認定看護師による褥瘡診療計画書(予防)のフォローアップ数:1万6千650件

褥瘡報告書分析患者数:812件

4) 講演会の実施

①外部講師による講演会を実施

第9回院内褥瘡対策勉強会

2018年2月5日(月)18:00～ ホライゾン ホール

演題:体圧分散寝具の最新情報 自動体位変換機能付きエアマットレスの活用方法

講師:(株)モルテン/健康用品事業部 植木良明先生

参加人数:24人

②皮膚・排泄ケア認定看護師による看護師対象褥瘡コース研修

2017年6月～2018年1月まで 計7回

5) ハイリスク加算算定に向けたシステム戦略室との話し合い

5. 学術関係 (褥瘡関連)

佐藤理子 10/19 亀田総合病院介護事業者職員研修「褥瘡予防について」講師

小倉美輪 佐藤理子 7/14、19 新採用者必須研修「褥瘡ケア」講師